| ≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫<br>介護サービス事業所部会 【報告書】 | | | |
|---|---|---|---|
| サービス種別 | グループホーム部会 | | |
| 開催日時 | 令和7年3月26日(水)<br>10:00～11:30 | 開催場所 | 阿南市役所202会議室 |
| 部会代表者 | 濱田 | 報告者 | 濱田 |
| 議題 | ①令和7年度連絡会の運営について<br>②その他(各事業所からのアンケートをもとに)<br>③阿南市在宅医療・介護連携支援事業における4つの場面について | | |

| 議題① | 令和7年度連絡会の運営について |
|---|---|
| 検討した項目 | ・令和7年度のサービス事業所連絡会の開催頻度・開催方法について<br>・令和7年度の部会長、副部会長の選出について |
| 検討内容 | ・連絡会の開催頻度について、令和6年度は年2回(10月・3月)とした。令和7年度も同様で良いか。<br>・開催方法は、市役所の会議室を借りて各事業所より集まって開催する集合形式とした。他の方法も検討すべきか。<br>・来年度の部会長、副部会長の選出について |
| 結論 | ・連絡会は上半期、下半期に1回ずつの年間2回の開催とする。議論すべき事項がある場合は、追加で開催することも可とする。<br>・開催方法は、多くの事業所が参加出来るよう、ハイブリッド型(集合・オンライン)を用いて、各事業所に案内を行う。<br>・令和7年度は部会長(GH笑顔毎日)、副部会長(GH花乃苑)を選出。 |
| 残された課題 | ・連絡会の開催時期について、年度末は各事業所忙しいため避ける。 |
| 備考 | |

| 議題② | その他（各事業所からのアンケートをもとに） |
|---|---|
| 検討した項目 | ・各事業所の業務改善（生産性向上）状況について<br>・利用料金について |
| 検討内容 | ・生産性向上推進体制加算を算定している事業所の取り組み内容<br>・各事業所の利用料金および今後の値上げ等について |
| 結論 | ・ICT機器の導入が生産性向上につながりやすいが、厚労省が発出している「生産性向上に資するガイドライン」を参考に、各事業所で取り組めるところからスタートしてはどうか。<br>・昨今の物価高騰、賃上げの影響により、現在の介護保険収入、家賃、食費収入では事業所運営が厳しくなっている。令和6年度での利用料の値上げ、令和7年度での値上げについて、事業所間で情報共有を図る。 |
| 残された課題 | ・今年度、阿南市のホームページが一部改正され、グループホームの市内各事業所の介護サービス情報公表が見やすくなっている。利用料の値上げについて各事業所の内容も確認しながら、対応をしていく。 |
| 備考 | |

| 議題③ | 阿南市在宅医療・介護連携支援事業における4つの場面について |
|---|---|
| 検討した項目 | 日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取りの4つの場面について、事業所が抱える課題や要望について |
| 検討内容 | 4つの場面について、サービス事業所連絡会（グループホーム）として、特に取り組むべき項目について検討を行った。 |
| 結論 | ・医療機関の担当者と顔の見える関係を構築し、グループホームが抱えている課題等について意見交換が出来る場（ケアカフェ・研修会）へ積極的に参加する。<br>・入退院支援をスムーズに行うため、共通の情報提供ツールを活用する。<br>・利用者が行方不明になった場合の捜索について、高齢者SOSネットワークの活用について、再確認を行う。 |
| 残された課題 | ・在宅医療・介護連携支援センターが開催する「ケアカフェ」に参加し、医療機関との連携を深めていく。<br>・今後、情報提供ツールが発出された場合には、連絡会で情報共有を図り、全事業所がスムーズに運用を開始できるようにする。 |
| 備考 | |

【会議風景写真】